

発行：岩手県精神保健福祉センター 岩手県自殺予防情報センター

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化するため、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。今回のテーマは「依存症に関する取組について（アルコール・薬物）」です。また、あわせて9月の「岩手県自殺防止月間」に関連する情報をお知らせします。

ニュース 9月は岩手県自殺防止月間です

警察庁の自殺統計に基づく7月の自殺者数

平成26年8月21日に内閣府から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者の推移等」によると、全国の平成26年7月の自殺者数(2,012人：暫定値)は、対前年比281人(約12.3%)減となり、平成26年1～7月の累計自殺者数(14,772人：暫定値)は、対前年比1,859人(約11.2%)減となりました。岩手県においては、前年同月比では7人の減少でした。今後も引き続き、各地域での自殺予防対策の強化をお願いします。

	平成25年7月(確定値)		平成26年7月(暫定値)		自殺者数対前年同月比	
	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	増減率(%)
全国	2,293	1.8	2,012	1.6	△281	△12.3
岩手県	38	2.9	31	2.4	△7	△18.4

トピックス 依存症に関する取組について（アルコール・薬物）

◆依存症関連相談は増加傾向です

アルコール・薬物関連問題は、本人及び家族の精神健康度を低下させるほか、自殺行動の衝動性を高めるなど、自殺の大きな危険因子の一つと考えられています。

アルコール使用障害・薬物使用障害は治療を必要とする精神障害のひとつでありながら、一方で、依存症当事者はなかなか相談場面に登場せず、治療を受けないという特徴があります。当センターへのアルコール・薬物関連相談件数は増加傾向にあり、そのほとんどが家族からのものです。依存症の問題に直面した家族は、戸惑いや、社会の偏見への懸念などから相談に結びつくまでに時間がかかり、問題が深刻化して初めて、相談を求めるケースが多くあります。そのため、相談機関への潜在的な相談ニーズは多いものと推測されます。

		平成23年度	平成24年度	平成25年度
アルコール 関連相談	来所相談	2	62	63
	電話相談	79	77	88
薬物 関連相談	来所相談	0	1	2
	電話相談	2	8	11

◆「アルコール家族教室」及び「薬物依存症者の家族教室」を開催しています

依存症関連問題は、家族に対する支援介入がとても重要です。家族が依存症に関する正しい知識と依存症者とのコミュニケーションの取り方を学び、治療に関する提案を上手にできるようになることで、本人が治療につながる可能性を高めるとともに、これから長く続く回復の道のりがよりスムーズになることが期待できます。

また、依存症は、家族にも様々な健康・生活への影響を及ぼすため、「家族の病」とも言われています。家族は長年、本人のアルコール・薬物に関する問題の対応に追われ、疲れ果て、家族自身が精神的なケアを必要としている場合が多くあります。家族が心の健康を回復させることは、依存症者本人の回復に不可欠です。

当センターでは、新潟医療福祉大学准教授近藤あゆみ先生らが作成した「薬物依存症をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」のワークブックを用いた学習

こちらのページから参照できます。

↓

内閣府__自殺対策__
自殺の統計__月別の地域における自殺の基礎資料（平成26年7月）

<http://www8.cao.go.jp/ji/satsutaisaku/toukei/tsukibetsu-h2607.html>

「薬物依存症をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」のワークブックの一例↓



会と、同じ悩みを抱えるご家族同士の分かち合いを組み込んだ全6回の「アルコール家族教室」及び「薬物依存症者の家族教室」を年に2クール開催しています。ゲストスピーカーによる講義もあります。参加には事前申込みが必要です。各回の学習テーマは下表のとおりですが、詳しいスケジュール等については、お問い合わせ頂くか、右記に記載の当センターホームページをご覧ください。ぜひ、対象となる相談者へご紹介願います。

	アルコール家族教室	薬物依存症者家族教室
第1回	アルコール依存症について	薬物依存症とは
第2回	上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる	上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる
第3回	暴力への対応	保護観察官による講義
第4回	長期的な回復を支え、再発に備える	長期的な回復を支える、再発・再使用に備える
第5回	家族のセルフケア	本人の望ましい行動を増やし、望ましくない行動を減らす
第6回	回復について考える ～本人・家族の体験談を通じて～	家族のセルフケア

「アルコール家族教室」及び「薬物依存症者の家族教室」のご案内は、こちらのページからも参照できます。↓

<http://www.pref.iwate.jp/seishinhoken/annai/006959.html>

参考資料：近藤あゆみほか『薬物依存症をもつ家族を対象とした心理教育プログラム』（平成22年度）

お問合せ先

岩手県精神保健福祉センター
担当：成田
☎019-629-9617

<http://www.pref.iwate.jp/seishinhoken/index.html>

主催・お問合せ

第10回北東北自死予防フォーラム実行委員会
(いわて生活者サポートセンター内)

☎019-604-8610
ホームページよりパンフレットをダウンロードできます。

お問合せ・申込先

岩手県精神保健福祉センター
担当：佐々木
☎019-629-9617

お問合せ・申込先

岩手県精神保健福祉センター
担当：大森
☎019-629-9617

インフォメーション

詳細はホームページをご覧ください。→

★第10回北東北自死予防フォーラム in 岩手

北東北三県（青森・秋田・岩手）のボランティア・民間団体が自殺予防活動の報告や意見交換を行います。「これからの自殺対策を考える」をテーマに、自殺対策支援センターライフリンクの清水康之さんらが鼎談を行います。分科会では、被災地復興と民間活動、地域のネットワークといったテーマを取り上げ、福祉・保健・医療分野からの発表・助言を予定しています。復興支援等に携わる専門職の方も必見です。お誘いあわせの上ご参加ください。

日時：平成26年9月27日（土）・28日（日）
会場：久慈グランドホテル（岩手県久慈市川崎町10-5）
内容：基調鼎談、分科会、被災地視察、他

★自死遺族ケア公開講座（こころサロン公開講座）

自死遺族支援に関心のある一般の方、自死遺族、関係者を対象として講演等を行い、地域の自死遺族支援について考えます。お誘いあわせの上ご参加ください。

日時：平成26年10月17日（金） 14:00～
会場：エスポワールいわて 大中ホール（盛岡市中央通1-1-38）
内容：講演「複雑性悲嘆－自死遺族支援の立場から－」（仮題）、等。
※公開講座終了後、自死遺族交流会、支援スタッフ連絡会を予定しています。

専門職向け

★他職種チーム活動とケアマネジメント研修①

様々なニーズを持つケースに対する多職種のチームによるケアマネジメントを学びます。地域の保健師からの報告やワークショップ等、盛り沢山な内容となっております。技術を習得する良い機会ですので、ぜひご参加ください。

日時：平成26年9月26日（金） 10:00～16:00（受付9:30～）
会場：岩手県福祉総合相談センター 4階 大会議室
内容：講義「ケアマネジメントの基礎」、報告、ワークショップ、事例検討
[講師・助言者]岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科 田中 尚先生

Twitter で岩手県精神保健福祉センターの最新情報を発信しています。

http://twitter.com/iwate_seishinhk

